

愛媛県高齢者保健福祉計画等推進委員会の会議結果（概要）

- 1 会議の名称 令和3年度第1回愛媛県高齢者保健福祉計画等推進委員会
- 2 開催日時 令和3年9月30日（木）14:00～15:10
- 3 開催場所 愛媛県中予地方局 7階 大会議室
- 4 出席者 委員11名（うち代理2名）・事務局（生きがい推進局長・長寿介護課長ほか）
- 5 審議事項

第7期介護保険事業支援計画等の達成状況について

医療介護総合確保促進法に基づく基金事業の県計画（介護分）の事後評価及び計画案（介護分）について

- 6 審議内容 全部公開（傍聴者なし）

- 7 委員からの主な意見等

議事(1) 第7期介護保険事業支援計画等の達成状況について

今治市では、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（以下、定期巡回と略す）は採算が取れないため、整備が進んでいない。宇和島圏域は、H30年度からR2年度で408%の増加となっているが、事業所数を示して欲しい。

（県）具体的な事業所数は今持ち合わせていないが、H30年度の宇和島圏域の利用人数が年間88人と少ないことから、増加率が大きくなっているものである。R2年度の実績を比較すると宇和島圏域より今治圏域の方が利用者は多くなっている。

（委員）多くの定期巡回は、サービス付き高齢者向け住宅（以下、サ高住と略す）等に併設されているもので、減算しながらも入居者に対してのみサービスを提供しているというのが現状だと思われる。利用者数を出す際には、事業所数も出していただくと分かりやすい。

（会長）母数が少ないサービスでは、統計上の見え方の問題があるかと思うので、事業所数についても事務局で状況を確認していただきたい。

看護協会で実施している「看護職員の認知症対応力向上研修」は計画の達成割合が51%で評価がCとなっている。この研修は指導的役割の方への研修だが、現場を3日離れるということが現実的には難しく、また、現在、衛星通信やDVDによる2日間の研修でも認知症ケア加算が取れるため、参加者が減っている。衛星通信の研修は、県内で100名以上の受講者があり、ニーズはあるので、研修の方法や内容、目標の見直しをしていきたい。また、これまでに対応力向上研修を受講した方のフォローアップとして、現場力向上研修を行っているので、そちらにつなげていきたいと考えている。

参考資料1の「市町の地域特性に応じた地域包括ケアシステム構築支援事業」は、いい試みだと思う。地域の実態把握調査について報告書を作成されるとのことだが、公表はどういった形になるのか。

(県) 調査結果の公表方法については検討中だが、何らかの形では、当委員会の皆様に御報告させていただきたい。来年度、市町への研修会の中で調査結果をフィードバックする予定であり、フィードバックした資料はお見せすることが可能であると考えている。

参考資料2について、私見だが、軽度者に居宅療養管理指導が増えているのは、サ高住の影響が大きいと考えており、サ高住では、訪問系の医療を入れて、薬剤師も入れるという誘導がされている傾向がある。自宅とサ高住では単位数が違うので、そこを調べれば傾向が分かってくるのではないかと思う。今年度10月の改正でも、限度額の7割以上となっているケアプランのうち、訪問介護が6割以上のものをケアマネが1事例ずつ市町に出さなければならなくなっており、サ高住の公正中立性に対してチェックが入るようになると思うが、居宅療養管理指導についてもみていただきたいと思います。また、居宅療養管理指導について、介護予防・重度化防止を考える上で栄養指導も重要だと思うが、導入が少ないように感じるので、適正に運用されているのか調査していただきたい。

議事(2) 医療介護総合確保促進法に基づく基金事業の県計画案(介護分)の事後評価及び事後評価計画案(介護分)について

人材確保の観点から介護ロボットに興味があるが、どういったものか実際に見てみなければ分からない。ロボットを推進するのであれば、ロボットの勉強会をやっていただきたい。

(委員) 県社会福祉協議会で展示してあるほか、機器の使い方の研修会などやっているのですが、活用されてはどうか。ヘルパー向けの研修もやっている。

(県) 介護ロボットについてPRの場を作らなければならないという課題認識はあり、関係団体や厚生労働省とも連携して、来年度、そういった機会を設けたいと取り組んでいるところ。検討段階ということで説明させていただく。

ICT機器の導入補助について、なかなか補助が付かない。能率を上げるためには重要だと思うので、力を入れていただけるとありがたい。

(委員) 導入経費も必要だが、更新費についても補助していただきたい。

8 閉会